

ソーラー通信



発行/株大潟村カントリーエレベーター公社

2019.9

No.289

カントリー農業通信クラブ「CACCO」

〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村字南一丁目60番地 TEL 0185-45-2215・FAX 0185-45-2280
お米注文専用：☎0120-45-3388 インターネットURL：http://www.ogata-ce.co.jp/
営業時間▶8:30~17:00 休業日▶土・日・祝祭日

主な内容

稲の花が咲きました……………	②
かぼちゃ畑から食卓へ……………	②
陰の力に感謝……………	③
湖上にふたたび浮かぶうたせ舟……………	③
潟吉君の田んぼ日記……………	③
クイズまるごと大潟村……………	④
編集後記……………	④

いま、大潟村は

お盆のころ、桜と菜の花ロードにはひまわりが咲き並びます。春の風景に負けず、帰省客や観光客に人気のフォトスポットになっています。台風が来るとすぐに倒れてしまうため、見ごろは短いのですが、その儚さが、ひまわりの美しさをさらに引き立てているようにも思えます。



表紙写真：8月12日撮影

お知らせ

●令和元年産新米の発送について

皆様よりご愛顧いただいておりますソーラーライスは今もなく収穫を迎え、発送時期は一般米・減減米は10月上旬、有機米は中旬、もち米については10月下旬の発送を予定しております。

新米の予約を随時受け付けておりますので、連絡お待ちしております。

●年間予約の発送について(毎月10日・25日発送)

現在年間予約をしていただいている方でご連絡のない方は継続とさせていただきます。

元年産米の年間予約内容について変更、ご要望等ございましたらお早めにご連絡下さい。

※年間予約の変更は発送日の一週間前までにご連絡をお願いします。

ご不明な点はフリーダイヤル 0120-45-3388 までご連絡をお願いします。

新米キャンペーンについて

江東区民まつり

令和元年10月19日(土)～20日(日)

(生産者が新米と特産品、産直野菜、米粉餃子等を販売致します。)

本場なまはげも皆様のご来場をお待ちしております。



※東京都江東区都立木場公園で生産者、当社社員がお待ちしております。

稲の花が咲きました



令和最初の夏。秋田でも、連日高温注意情報が発表されるほど暑い夏でした。テレビから流れる「熱中症に注意」の文字を見るたびにうんざりしたものです。私達は暑さにまいていましたが、田んぼでは稲がすくすくと育っていました。8月に入ると、茎の中から穂が出る「出穂」を迎えます。そして、出穂から2~3日経つと「開花」です。開花と言っても、稲には花びらがあるわけではありません。稲の花は2枚の穎（えい）に包まれていて（これは後に籾殻となる部分です）、この穎（えい）が開いておしべとめしべが出てくる、これが稲の開花です。穂の先端から現れる白くて小さい花。一見これが稲の花のように見えますが、これはおしべなんですね。稲の開花は、天気の良い日の午前中、2時間程度の短時間で終わります。この時に受粉が行われ、2枚の穎（えい）は再びしっかりと閉じて開くことはありません。それから収穫まで、太陽の恵みを受けて段々と大きくなっていきます。毎年のことながら、こうした小さな命の営みによってお米が出来ていくことに感動します。後は天気のいたづらが無いことを祈るだけ。無事に稲刈りを迎えられるように！

かぼちゃ畑から食卓へ

7月下旬から8月上旬は、大潟村特産かぼちゃの収穫の季節です。今回は収穫から出荷までの工程を非常に駆け足でご紹介したいと思います(笑)。

畑で軽トラに山積みされたかぼちゃは、各生産農家の格納庫まで一旦運ばれます。乱暴に運ぶと路上にかぼちゃを置いていってしまうので気をつけて運搬します。格納庫ではまず研磨機でかぼちゃ表面を磨きます。磨かれたかぼちゃはホントにピカピカ！まるで発光しているかのようです。と、まだこの段階では出荷ができません。かぼちゃのヘタをある程度乾燥させなくては、輸送の途中で悪くなってしまいます。2日ほど扇風機などで乾燥させたかぼちゃは、農家の手によって一個一個計量され、重さと固体ごとの質によって、コンテナに仕分けされます。このコンテナに入った状態で初めて、大潟村農協の出荷場に持ち込みます。

大潟村のかぼちゃ農家の出荷作業は基本的にここまで。今年の大潟かぼちゃも高い品質でみなさんの食卓にお届けできそうです。是非ご賞味を！



陰の力に感謝

大潟村といえば『桜と菜の花まつり』と
 言っているほど、今ではすっかり有名になったこのお祭り。毎年ソーラー
 通信でもミニSLで菜の花畑を走り抜ける写真や、ピンクと黄色の見事な
 コントラストをお伝えしています。しかし実は裏で、毎年花を咲かせるた
 めに頑張ってくれている“陰の力”があつてこそ実現しているのです。そ
 の陰の力が「大潟村耕心会」という団体です。農業の第一線を退いた世代
 の方々が「田畑の次は心を耕そう」という思いで活動されているそうです。

さて、強い花のイメージがある菜の花ですが、実は連作障害が起こる作
 物。菜の花を同じ場所で作り続ける事により起きてしまう生育障害に悩ま
 されています。その対策として取り組んでいるのが「ひまわり」と「そば」。
 桜と菜の花ロードが夏にはひまわりロードに。そしてミニSLが走る菜の
 花畑には、可憐で清楚なそばの花が一面に咲いています。農業のプロ集団
 が知恵をだし合い、工夫を凝らしながら手入れをしてきているからこそ、
 毎年楽しむ事が出来ているのですね。余談ですが…刈り取られた菜の花は
 菜種油として「道の駅おおがた」で販売しているそうです。気になった方
 は是非どうぞ(^ ^)

耕心会の活動は、菜の花を毎年
 咲かせる事以外にも、6月には紫
 陽花、今の季節はマリーゴールド、
 秋にはコスモスと、大潟村の景観
 を支えています。

耕心会の皆さん!!これからもよ
 ろしくお願いします。



大潟村のお隣、八郎潟町では毎年田んぼ
 アートが作られています。丘の上の見晴台
 からちょうど良く見えるように稲が植え
 られていて、素晴らしい出来栄です。大
 潟村で田んぼアートを作ろうとしても、
 大潟村の特性上、高台がないので見栄え
 を考えると難しいのかもしれませんが。こ
 れだけでなく、世界は難しいことで溢れ
 ていますけども、私にとって目下に難し
 いのが、生後100日を迎えた息子のご機
 嫌取り。奥さんが一匙懸命ミルクを与え
 ても泣き止まないことも多く、私の抱っ
 こなどではさらに機嫌が悪くなってい
 る気さえします(笑)。それでも身体的に
 は順調に成長していますし、自分で勝
 手にコロコロと寝返るようにもなりま
 した。息子がすくすく育ってくれてい
 ることに安心し、田んぼの稲の草丈が
 すくすく育ちすぎていることに不安を
 感じながら(笑)、息子との初めての夏が
 過ぎていきます。

By 三代目潟吉



湖上にふたたび浮かぶうたせ舟

干拓前、大潟村は日本第二位の面積を誇る湖「八郎潟」でした。当時は
 うたせ舟を用いた漁業が盛んで、100隻ほどが操業していたそうですが、
 干拓後は数が減り平成以降には姿を消しました。

うたせ舟は、白い大きい帆で風を受けることで網を引く漁船のことです。
 今回このうたせ舟を現在の湖上に再現するという催しが、お隣八郎潟町主
 催でおこなわれました。遊覧船(釣り船を改修した程度のもの)に乗りこみ、
 いざ湖上のうたせ舟へ近づいてみると…アクシデントでうたせ舟の帆が折
 れたとのこと。というわけで今回、帆を張ったうたせ舟の姿を見ることは
 できませんでしたが、私自身が大潟村に生まれてから初めて八郎湖上に
 立ち、大潟村の田んぼに水を引く取水口などを湖上から見る事ができた

うえ、捕獲したばかりの新鮮なシラウオもいただけるな
 ど非常に貴重な体験となりました。今後、うたせ舟の再
 現は非常に難しいとのことですが、干拓前当時の写真資
 料などでうたせ舟の姿を見る事ができますので、興味
 のある方は調べてみてください！



クイズ 大潟村

まるごと

～QUIZ from OgataVillage～

Q 暑い夏も終わり、間もなくソーラーライスの収穫時期となりました。大潟村(国内)で最も普及しているコンバイン(稲刈り機)は何番でしょうか？

つぎの①②③のなかから選んでお答えください。

- ① 自脱型
- ② 自走型
- ③ 普通型



ヒント 自動で刈り取りと脱穀の作業ができる。

令和元年10月15日必着

- ハガキにて応募下さい！
- 正解者の中から抽選で10名の方に大潟村特産品を進呈致します。
- 当選者の発表はソーラー通信令和元年11月号に掲載致します。

応募方法

- 9月号
- ①氏名
- ②年齢
- ③〒住所
- ④電話番号
- ⑤答え

ひとつこと

応募先

〒010-0444



秋田県南秋田郡大潟村
字南一丁目60番地
大潟村カントリー
エレベーター公社
「クイズまるごと大潟村」係

7月号 (No.287) クイズ当選者発表

神奈川県 穴戸様	埼玉県 中山様
神奈川県 中林様	東京都 菊入様
北海道 福松様	神奈川県 森様
神奈川県 蔭山様	東京都 山本様
東京都 宇野様	東京都 向井様

前々回クイズの解答

正解は
③ 穂肥(ホゴエ)でした。

問題 まもなく稲に幼穂が出来る頃となります。この時期に肥料をやりますが、この肥料のことを何と言うのでしょうか？

お知らせとお願い

- ★夏期間(6月～9月)は1ヶ月以内に消費できる量を目安にご注文下さい。特に夏場は高温多湿の影響によりお米の劣化・虫の発生等が想定されますので早めの消費をお願いします。
- ★お米の交換は着日から10日以内とさせていただきます。(お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。)
- ★ポイントの交換はお米と一緒にご注文下さいますようお願いいたします。サービス品のみの発送には送料がかかりますのでご了承下さい。
- ★当日発送の受付締切り時間が**午前10時**となりました。午前10時過ぎのご注文は翌営業日発送となりますのでご了承下さい。
- ★当社ホームページよりお米のご注文ができるようになっております。
※ご不明な点がございましたら、営業時間内(8時30分～17時)0120-45-3388までご連絡下さい。

編集後記

今年の夏も暑かった。これはもう異常ではなく、平常な暑さになりつつあるのでしょうか。8月は大潟村でも37℃を超える日がありました。それでも最近では、少しずつ秋の気配を感じます。日暮れが早くなったり、朝晩に涼しさを感じたりなど、気候の変化はもちろんです。が、何よりも子供たちの夏休みが終わった事で、平穏な日常を取り戻した!!これが一番大きいですね。
令和元年産米に向け、稲刈り準備スタートです!!